

おもいやり

— 中央東地区社協だより —

第 7 1 号

発 行 中央東地区
社会福祉協議会
事務局 鎌ヶ谷市東初富
1 - 10 - 1
(東初富公民館内)
電話・FAX 442-5144
編 集 広報啓発委員会



中央東地区社協ふれあいまつり

高齢者と障がい者と子どもたちによる手作りクリスマス会

平成30年12月2日(日)(於東初富公民館・ふれあいホールにて)

中央東地区社協の活動範囲は
鎌ヶ谷東第一区連合自治会・東武鎌ヶ谷自治会・南初富連合自治会の地域です。

五小ふれあい会

12月4日(火)五本松小学校に伺い地域の高齢者の方々と小学校三年生の皆さんと昔あそびで楽しい時間を過ごしました。

けん玉・手回しこま・ベーコン・あやとり・おはじき・お手玉・折り紙・百人一首・わらべうたなどに、子供たちが夢中になつて楽しく遊んでいる姿を見て大変うれしく思いました。最近忘れられつつある昔あそびですが、子供たちの可愛い笑顔を見ているといつまでも守り伝えていかなければならないと思いました。その後子供達といろいろなおしゃべりしながら給食をいただき懐かしい時間を過ごしました。小学校の先生方のご協力大変ありがとうございました。



みんなで楽しくけん玉あそび



初小・五小・五中の皆さんで書いた年賀状



五中図書室にて真剣に取り組む年賀状作り

手すきはがきを使って年賀状を作成

生徒の感想 (11月・五中にて)

2年 永井 翔太

牛乳パックを効率よく使っていて、とてもいい気持ちになることができました。高齢者の方が喜んで頂けるとありがたいです。

2年 西沢 淳志

高齢者の方にお世話になることがあったので、今回のような高齢者の方へ恩返しができる機会があつて良かったです。

1年 上山 莉緒

今年年賀はがきを書かせていただいて、高齢者の方に、はがき書いたのは始めてだったので上手くは書けなかつたけど、高齢者との交流が深まつたので良かったと思います。来年も福祉委員を続けられれば、はがき作りをするのを楽しみにしています。

1年 丸岡 雫

高齢者の方に、思いが伝わるように書いたので届いた時に喜んでもらえるのが嬉しいです。書いているうちに沢山のアイデアが出てきて、自分も書いているうちに楽しかったです。これをきっかけにボランティア活動に興味をもちました。ありがとうございました。

サロン 翔友会

楽しいやき芋会

11月21日(水)は晩秋とはいえ、おだやかな小春日和りのもとで、参加者総勢38名の沢山の方々が集まりました。会場は(鎌ヶ谷翔裕園交流スペース)朝から賑やかな雰囲気の中で計画していた「やき芋会」が始まりました。早速やき芋の準備をし、焼き手の男性チームから渡されたホカホカのやき芋をほおばり始めると、おいしい！あまーい！と童心に返ったように笑顔がいっぱい。部屋中に会話が弾み楽しい雰囲気の中で、やき芋会はお開きとなり、これぞサロンの理想の姿だと思いました。これからも交流の場を通じ、笑いと会話の絶えない地域の仲間づくりに役立てばと思います。



おいしい焼き芋を前にして

ミニハビリ教室

11月にはみんな楽しみにしている手の体操にもなる千支の色紙作成。来る猪の歳を迎えて、いままで努力してきた事が真つ直ぐに突き進んで、みごとに花咲くように願いながら創りました。



千支創りに励む参加者

★お知らせ

障がい者の方を対象に、20年間続けてきたミニハビリ教室は、これまで地域のボランティアの方々を支えられてきましたが、法律の改正に伴い介護保険の利用範囲が拡大したこともあって、参加者が少なくなり、この3月で終了することになり、これまでお世話いただきました皆様に感謝申し上げます。

介護予防教室

二こも体もリフレッシュ

10月16日(火)、酒井麻千子先生をお招きして40名の参加者で軽体操を行いました。BGMをバックに、初めは軽い手足の運動から徐々に負担の大きい運動へ。みっちり一時間半の運動で身体が充分ほぐれ、先生の軽妙なトークで心もほぐれました。

体操の後、健康増進課の栄養士さんから食事について、タンパク質不足にならないようになど、いろいろな注意点を聞きました。バランスの良い食生活と適度な運動で心身の衰えを予防して健康に過ごしていきたいものです。



適度な運動が大切ですね

災害時等要支援者、避難支援制度

気になる災害時の支援は

昨年10月31日(水)市総合福祉保健センター6階にて右記の全体説明会(参加者約250名)があり、最初に社会福祉課より大まかな説明の後、柏市保健福祉部職員から約10年前〜今日までの立ち上げの経緯や構築等の説明がありました。

柏市ではK-Netと名付けられた防災福祉制度が動いており、具体的に詳しい取り組みが進んでいるようです。その基本は①災害時にひとりで避難することが困難な方がいることを地域の人に知ってもらうこと②災害時、地域の方に安否の確認や可能な範囲で避難支援に協力してもらうことです。

鎌ケ谷市でも災害時要支援者制度の概要は在りましたが、これから動き始める処です。

避難行動要支援者(個人)と支援者(各団体・個人)それぞれの立場が複雑な為に今後、行政の取り決めがどの様な形で実施されるのか注目されます。災害時の「共助」は弱者のみでなく健常者も同じです。日頃からの近隣同士のお付き合いが如何に大切か再確認しました。新制度が作成されてもそれが現実にならない事を願いながら……。

かまがや福祉健康フェア

一度お出かけになって見ませんか

昨年10月21日(日)年に一度、市の福祉活動に関する大イベント「かまがや福祉健康フェア」が開催されました。

会場は、鎌ケ谷市総合福祉保健センターの1階〜6階までの部屋をブースにして紹介していました。当日は、大勢の方が見えていました。現在、市は鎌ケ谷市地域福祉計画を策定し、その施策に添って進めています。

地域福祉の基本は、障がい者、老若男女を問わず、生活弱者に対して思いやりをもって支えることで明るい社会を築くことではないかと思っています。

そんなことで会場では福祉に関わる各ボランティア団体が趣向を凝らした展示品、配布品を用意し訪れた方々に説明し、また相談に依っている姿が多く見受けられました。

鎌ケ谷市には、6地区分かれた地区社会福祉協議会がありますが、今回私たちが中央東地区社会福祉協議会は、1年間の活動をパネル(右下の写真)にして紹介しました。

当日は、ふれあいラリーも開催され一部の自治会からの模擬店がだされたこともあってそれに舌鼓をうつなど大変な賑わいでした。



◆寄せられた善意

ありがとうございました

ニッポー株式会社様より

お菓子の詰め合わせ

中村様より

手作り小箱

◆車イスをご利用下さい

無料で貸し出しております

中央東地区社協 電話 四四二・五一四四

【編集後記】

中央東地区社協の福祉活動状況等をお伝えしている広報誌「おもいやり」の用紙が上質となり、写真もカラーとなり、読みやすくなりました。費用は従来とあまり変わりません。新しい年が始まりました。元号「平成」も変わります。楽しい・豊かな一年となりますように！